

学校関係者評価 (共通項目)

柱	No.	評価項目	評価				改善策として考えられること
			A	B	C	D	
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて全教職員で組織的に取り組んでいる。	3	2			○ 多岐にわたらず、取り組みを重点化し共通理解し、見える化する事が改善につながる。
	2	学校は、安全・安心に配慮し危機管理体制を整えている。	3	2			○ 西大和団地から通っている児童生徒について（決して人数は多くないからこそ）「どの生徒がどのルートを通って通学しているか」を把握してほしいと思います。特にこの先、建て替えなどに伴う工事が団地各所で行われる予定になっています。西大和団地自治会として、工事情報などを綿密にご提供できればと思っておりますので、工事等に伴い通学ルートに危険が及ぶ場合は、家庭と学校とで通学ルートの見直しや対策について話し合ってもらいたい。 ○ 次年度には防犯カメラの購入など対策に留意されているのが分かりました。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	3	2			○ 転出入の多い学校ですが、校長先生を中心とした先生方の指導により、落ち着いた子供たちの様子を感じます。きめ細かい指導がされ、その成果も出ているように感じます。
	4	学校は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	3	2			○ 学校全体として授業改善にどう取り組むのか。その方法論を具体的に展開できれば。
	5	学校は、学習ルールを共通理解するなど、学習規律の確立が図られている。	2	3			○ 学習ルール・規律が全職員に理解されているか。各楽器裕学年まかせにならないように。系統性を生かしてほしい。
規律ある態度育成	6	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた規律ある態度を身につけている。	2	3			
	7	学校は児童生徒の実態把握に基づき、規律ある指導の工夫・改善に努めている。	3	2			○ 放課後の校庭の賑わいから、体を動かすことに意欲的な子供たちが増え、好ましく思います。
健康・体力向上	8	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	2	3			○ 学校全体としての業前・業間運動の取り組みを見える化する。
	9	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	2	3			
連携	10	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学校運営や教育活動に生かしている。	3	2			○ またこの1年を振り返り、学校運営協議会での情報共有の必要性を改めて痛感しました。今後も官舎も含め全ての広沢小の児童生徒のためにも連携を深めていきたい。

- 長い間、広沢小学校の運営協議員として関わられたことを官舎します。ありがとうございました。
- コロナ禍で計画的な学校経営ができず、制約の一年ではなかったかと思えます。そのような状況で学校評価を行うのは難しいものがあり、おこがましい次第です。とはいえ、来年度は本来の教育活動が展開できることを願っています。
- よく取り組んでいただき、感謝しております。この先、管理職や教職員の異動があっても、この取組の水準を維持していただければと願っております。
- 保護者アンケートでもほとんどの項目が95%以上のA評価であるのは、学校を愛し誇りに思っているからではないかと思えます。私も他校から転入される方には、広沢小学校は落ち着いた良い学校だから、安心して下さいとお伝えしています。